

平成26年度第4回番組審議委員会議事録

1 開催年月日 平成26年10月29日(水)

2 開催場所 CTY本社3階会議室

3 委員の出席

- ① 委員総数 8名
- ② 出席委員数 5名
- ③ 出席委員 小林慶太郎(四日市大学 教授)
藤井博光(ライブハウス フルハウス 店主)
吉水英人((公財)四日市市文化まちづくり財団
事業担当グループリーダー)
- 出口 功(菰野町スポーツ・文化振興会 事務局長)
- 服部洋明(メガネの隆明堂 店主)
- ④ 欠席委員 笹岡邦清(暁石齋株式会社 取締役)
山路真一郎(山路工業 代表取締役)
原真由美(民生委員)
- ⑤ 放送事業者側出席者氏名 舘 克俊(放送制作部部長)
山本浩之(放送制作部課長)

4 議題

審議番組	番組名	週刊よっかいちかふえ内コーナー番組 “じもとにもっと”
	放送日	10月3日(金)
	放送時間	12:00~13:59 (上記の時間内の12:30より約15分間)

5 審議概要

エフエムよっかいち番組審議委員会 小林慶太郎委員長の挨拶に続き、弊社放送制作部部長、舘克俊より挨拶。続いて先般の10月6日、13日に上陸した台風18号・19号に際しての災害緊急放送のご報告ならびに総括、来年も本年を教訓に、より一層の災害緊急放送への取り組み強化をしてゆく旨をご報告。次に弊社放送制作部課長の山本浩之より審議番組の視聴・合評が行われました。

6 審議内容

委員長：番組視聴の前に番組概要の説明をお願いします。

会社：今回ご視聴いただく番組は、2014.4からスタートした番組で四日市市を中心とする北勢地域のイベント・娯楽情報・生活情報などの各種情報、ゲストとして地元企業などからお客様をお招きして生の情報をお届けする番組です。その中のコーナー番組が今回ご視聴頂く“じもとにもっと”です。週末に市外、県外にお出かけするのもいいけれども、気軽に出かけられる“地元”にもっと目をむけて欲しいが基本コンセプトです。毎週”地元”にこだわったゲストをお迎え、または電話中継で生の地元情報をお聞きします。月4週で現在のところ固定の4ゲストでお送りしています。

番組聴取	番組名	週刊よっかいちかふえ内コーナー番組 “じもとにもっと”
	放送日	10月3日(金)
	放送時間	12:00~13:59 (上記の時間内の12:30から約15分間)
	その他	今回は諏訪公園交流館館長が生ゲストです。

委員長：みなさんのご意見をお願いします。

委員：まず率直な感想は、情報量が多すぎると思います。早口でまくし立てられるように話しているという印象しか残りません。

委員：館長のたくさんの情報を限られた時間内で伝えたいという想いは十分伝わりますが、結局何が伝えたかったのかがよく分かりません。もう少し情報を精査して、伝えるべき情報は何かをはっきりさせた方がよいと思います。

委員：オンエアが10月初旬で話の内容が10月下旬や11月上旬まで、情報として必要なんでしょうか。番組(コーナー)の終わりには忘れてしまいます。

委員：金曜日お昼のオンエア番組で、はたしてメモを取りながらラジオを聴ける人はどのくらいいるのでしょうか。聞き流しの環境であるとするれば、やはりこの内容は少し情報量がオーバーフローしていると思います。

委員：最初から最後までおしゃべりではなく、例えば伝えたい情報の中に出てくるイベントに関連する音源や音楽があればアクセントになると思います。

委員：伝えたい情報は3~4つくらいにして、ひとつひとつの情報を掘り下げることができれば、もっと印象に残ると思います。

委員：15分のコーナー番組を真ん中に音楽などのブレイクを入れて、前半と後半にするともっと聞きやすいと思います。

- 委員：情報を伝えることも重要なことなのですが、例えば前回のオンエアの際に伝えた情報に関してのリポートや参加者の感想などもあれば、リスナーとの共感も生まれてくるのではないのでしょうか。
- 委員：可能であればイベントに参加した人からのメールなどが紹介できればよいと思います。
- 委員：エフエムよっかいちのホームページでこういうイベントなどの情報はアップできないのでしょうか。
- 委員：常に最新の情報でなければ意味がないとしたら、エフエムよっかいちのホームページに諏訪公園交流館のリンクを貼ってみたらどうでしょうか。もちろん他の会場や施設に関しても同様です。
- 委員：現実的には難しいのかもわかりませんが、こういう番組とツイッターやフェイスブック、ブログなどとの連携もあればリスナーにとって有益であると思います。
- 委員長：“地元”にもっと目を向けて、“地元”の良さを再認識してもらうというコンセプトは地元密着のコミュニティFMにとって重要なことであると同時に、その責務もあると思います。今後は情報の伝え方にひと工夫が必要だと思います。ラジオという媒体とネットという媒体との連携など、若年層から年配層、主婦からサラリーマンや事業主など幅広くリスナーになっていただくには、従来の方法だけではなく、多岐にわたるメディアミックスを考えて行かなければならない時代かも知れませんが、しかしながら、あくまでも“ラジオ”であることを忘れることなく、“情報”をいかに正確にまた的確に伝えるか、どうすればリスナーにとって有益なのかを今後も追求して欲しいと思います。
- 会社：貴重なご意見をたくさんありがとうございました。まだまだご意見があらうかとは思いますが、また、ご意見やご感想などがございましたらその都度、ご教授いただきたく存じます。今日は1時間半にわたり議論を頂き、ありがとうございました。

次回開催日 平成27年1月8日（木）16：30～（予定）

6 審議会の答申などに対してとった処置

7 記事の公示

エフエムよっかいちホームページにて公示